

3月強調月間

CS/GreenProject/ ワイズメネット

CS

地域奉仕をアピールの場に！
～「のぼり」と共に広げるCS活動～

日ごろから、活発な地域奉仕活動のご協力に感謝申し上げます。私たちワイズメンズクラブにとって、地域に根ざしたCS活動はクラブの存在意義そのものです。そして今期は、私たちの活動をより多くの方に知っていただくための新しい施策として、ワイズメンズクラブの「のぼり」を作成する方針を立てました。すでに、YMCAのチャリティーイベントのお手伝いや、地域でのバザー、赤い羽根共同募金など、数クラブから写真付きでご報告を頂いております。今後もぜひ、こうした活動の現場で、私たちの真新しいのぼりを高く掲げてください。地域奉仕の場は、同時に私たちの存在を地域社会に力強くアピールする絶好の機会でもあります。

のぼりを立てて活動することで、「ワイズメンズクラブ」という名前が地域の方々の目に触れ、私たちの活動への共感や、新たな仲間づくりにも必ず繋がっていくと確信しています。地域への貢献とクラブのPRを両輪として、共に活気あるCS活動を展開していきましょう。「のぼり」がはためく、皆様の地域での素晴らしい活動報告を心より楽しみにしております。



地域奉仕・Yサ事業主任
深澤勇弘(熱海)

リーン・レヴィ(税))および自主献金を充てています。全ての地域、区、部、クラブは、地球環境保護/CO2排出削減プロジェクトへの取り組みへの国際協会からの支援金を得るために応募することができます。皆さんの関わっていらっしゃるYMCAの各施設は、地球環境保護の観点で改善すべき点はありませんか？それに対して皆さんは何かできませんか？毎年の応募の締め切りは3月15日です。

詳しくは
<https://www.ysmen.org/our-work/environment/funding/> をご覧ください。

<熊本宣言>

「ワイズメンズクラブ国際協会は、環境への影響を軽減し、グローバルな持続可能性への意味ある貢献を果たすことを誓っています。私たちの『戦略2032』ビジョンと国連の持続可能な開発目標(SDGs)に沿って、環境意識の向上、革新的で責任ある実践を行うこと、再生可能エネルギーの支援、効果的な廃棄物管理および持続可能な環境への取り組みを推進し、よりクリーンで緑豊かな世界の構築に貢献していきます。」

ワイズメネット

「伝統的に、ワイズメンの妻はワイズメネットと呼ばれ、時には地元のワイズメンズクラブの補助団体を形成することもありました。今日では、国際的には、ワイズメネットはワイズメネットクラブに参加することを選んだ女性たちです。そして、今日のワイズメネットクラブは、もはやワイズメンズクラブの補助団体ではなく、地元のワイズメンズクラブ、YMCA、地域社会を支援する独自のプログラムを持っています。」

以上が、ワイズメンズクラブ国際協会のワイズメネットの説明です。つまり、ワイズメンのパートナーと限らず、ワイズメネットの活動に賛同する女性はどなたでも入会することができるということです。そして、国際では、ワイズメネットプロジェクトとして、Time of Fast(断食の時)の事業として選ばれたプロジェクトの一つを支援しています。

日本国内では、ワイズメネットクラブとして国際に登録しているクラブはありませんが、各クラブの会員のパートナーや女性会員がワイズメネット活動を担っています。

そして、東日本区では、東日本区ワイズメネット事業委員会を設置し、国際、国内のワイズメネット活動の中心となっています。

東日本区ワイズメネット事業委員会の国内の活動としては、各



ワイズメネット委員長
利根川 恵子(川越)

Green Project

国際協会は、2010年8月に横浜で開催された第69回国際大会において「横浜宣言」を採択し、地球環境保護への組織としての取り組みを始め、さらに2025年7月には熊本で開催された国際議会で「熊本宣言」を決議して、取り組みの継続・強化を確認し、各地での地球環境保護/CO2排出削減プロジェクト(グリーンプロジェクト)への支援を進めています。プロジェクトの例としては、YMCA施設へのバイオガスプラント・コンポストシステム導入、照明のLED化、太陽熱温水システム・太陽光発電システムの設置などがあります。

グリーンプロジェクト支援の原資は、国際大会、地域大会参加者全員が登録費に上乗せして行う献金(グ

クラブからメネット献金をいただき、国際ワイズメネットプロジェクトへの支援のほか、昨年度までは、幼稚園、保育園、放課後児童ディサービスなどを行う YMCA に絵本を贈呈してまいりました。

現在は、東日本区メネット事業委員会が区のワイズメネットクラブの働きをしております。今後、東日本区ワイズメネットクラブとして国際に正式に登録し、ワイズメネットクラブの位置づけを明確にしていくことを検討してまいりたいと存じます。



東日本区ワイズナイトフォーラム 第2夜

2月15日、日曜日の午後8時から9時までの1時間、第2回ナイトフォーラムが44名の参加者と共に行われた。

テーマは「不登校への取り組み、富山 YMCA」。

日本の中では、不登校問題に一番早く対応してきた富山 YMCA。その最初のきっかけは、上村総主事で、今日までも精力的に展開している。そこには、不登校の子どもも学校に通っている子どもも共に学べる環境がある。

上村(かみむら)さんは、富山 YMCA のユースリーダー出身、大学卒業後に YMCA スタッフになり、子どもの教育クラス担当をしている時、学校を休みがちなお子どものが何人か来ていることに気づいた。そんな気づきが、今の富山 YMCA の中で中心的活動を生み出した。JR 富山駅近くにある8階建てのビルの4-8階を学習センター(居場所)が会場であり、毎日80人程度、小学生から高校生までが通い、さまざまなクラスを提供している。多くの生徒の中で、誰が不登校なのか分からない。半分以上の子どもが不登校児かその瀬戸際にいる子どもたち。好きな科目を選び、授業料も払い、時には食事と一緒に食べることもある。不登校の子には、授業料の半額を市から補助されているという仕組みである。まさに学校が認めている「学校外の学校」になっている。

「不登校児のニーズに対して、ワイズとしては何ができるか」という質問に対して上村さんは、「勉強以外の特別行事があるときの手伝いなど、人がいてくれると助かります。」と言っている。そして、子どもたちは、先生以外の人たち、特に高齢者にはなぜか近づきやすいと感じている。まさに、地域で支える、いろいろな形の学び場になっているのでは？



TOF 活動： このプロジェクトは、ワイズの国際協会が集めた TOF 献金から支援されています。「不登校」への取り組みを3年間行うために、総額で15,000スイスフラン(1CHF=165円で換算すると日本円で250万円程度)を援助してもらえます。この不登校プロジェクトは、2024年秋に始まり、2027年12月までの3か年プロジェクトである。これまで宇都宮(とちぎ YMCA)、甲府(山梨 YMCA)、東京 YMCA 通信制高等学院のプロジェクトを応援してきた。さらに多くの新しいプロジェクトや、不登校理解のセミナーなどのために TOF 資金を使う予定で、TOF 特別委員会承認する。

第2夜の記録ビデオが YouTube で公開されています。



次回、Zoom で行う3回目のナイトフォーラムは、3/22(日)の夜8-9時で行われます。関心ある方は、どうぞ自由にご参加ください。

ミーティング ID: 815 2730 2974

パスコード: 328739



India Experience Tour

インド体験ツアー 2月19日-3月2日

無事にインド文化に触れながら

成長体験を積み重ねています

国際交流事業委員会が主催するインド体験ツアーが現在、こちらの期待を上回る多くの成果をあげながら無事に開催中です。

この成果は現地のワイズとユースのみなさんの尽力によってもたらされています。

インドのワイズメンの底力をみる思いですが送り出す、そして参加するみなさんの思いを記していただきました。

送る人 鈴木雅博関東東部部長（東京江東）

今回のインド体験ツアーはワイズメンズクラブ内でも初の試みと伺いました。

私はかねてから自分が青年期に海外で異文化、世界のスケールの大きさ、異なる価値観を体験したことから、将来の日本を支える青年には海外での視野を広げる経験が貴重であり、今年は特に多くの若者を海外に送り出していきたいと考えておりました。

今回推薦した学生は地域文化研究専攻の学生が2名、法政経済専攻の学生が1名です。

新興国のなかでも屈指の経済成長率であり、今やITの世界ではその存在感を極め、教育の面でも注目されるインド。

正反対のカルチャー・映画の世界でもハリウッドとして注目される国。紀元前にさかのぼる歴史をもち、日本とは仏教の開祖釈迦を通じて縁が深く、最近では日本の新幹線も採用され現在建設中、首都デリーでは日本の地下鉄も運行し日本とは経済で結びつきが深く、国土も経済も言語も気候も文化も宗教観もすべてがスケールの大きいインドの中でも特に経済的に発展しているハイデラバードで現地の大学、文化や生活を体験できることは、今後の彼らにとって非常に大きいものとなるでしょう。

それぞれが専攻している学問の上でも日本国内では経験できない経済の流れや地域文化の体験が今後大きな意味を持つ



つものと考えています。

治安の心配もありますが、YMCAのサポートを全面的に受けられるのも大きく、ご家族も安心しております。今後も海外研修の機会がありましたら、青年を送り出して行きたいと思っております。

3人もの学生を推薦・送り出していただきました



成田を旅立つツアー一行と見送りの山本剛史郎国際交流事業主任





ハイデラバードに無事到着

見守る人 為我井輝忠ワイズ（東京多摩スマイル）

為我井 輝忠（東京多摩スマイルワイズメンズクラブ）2月19日から3月2日までワイズメンズクラブ国際協会東日本区主催の12日間、7名のユースたちとインドのテランガーナ州ハイデラバードへ行って来ます。インドはこれまで複数回出掛けていますが、その都度色々なハプニングがあり、緊張感を強いられたこともあったりしながら、同時に楽しくもまた興味ある国でした。

今回、ハイデラバードのYMCAとワイズメンズクラブの協力で同地に滞在し、大学訪問及び学生との交流、ハイテク関連施設見学、文化体験、宗教施設（ヒンズー教及び仏教寺院）訪問、ヨガ体験、結婚式への招待等の多くのプログラムが組まれています。ユースの参加者たちはすでに欧米への渡航経験があり、外国事情には十分精通しているようですが、今回のインド研修はこれまでの体験では得られないより多くのものがあると確信します。帰国したあかつきにはいずれ報告会を開き、インドで得た様々な研修と体験を報告したいと思えます。今回の研修旅行に際しては山下 真東日本区理事や山本 剛史郎国際・交流部長をはじめとして多くの関係各位のご協力を頂きましたことを感謝致します。



ユースのサポートをお願いしました



参加する人 佐野理子コメット（富士宮）

今回のインド体験・交流プログラムへの参加を決めたきっかけは、昨年3か月間のニュージーランドでの留学経験があったからです。多文化・多国籍な環境の中、さまざまなルーツを持つ人々と出会いました。その中でインド出身の方とも交流し、文化や宗教、食べ物、家族の在り方など多くのことを教えていただきました。その経験を通してインドという国に強く興味を持ち、「いつか自分の目で実際のインドを見てみたい」と思うようになりました。今回その思いを実現できる機会をいただいたことを、大変光栄に思っています。

現地での10日間を通して、表面的な違いを見るだけでなく、その背景にある価値観や考え方まで理解しようと努めたいです。また積極的に人と関わり、日本の文化や自分の考えも自信を持って伝えられるよう挑戦したいと思います。この経験を、自分の視野をさらに広げる大きな一歩としたいと思います。最後に、今回の参加に際し、いつも見守ってくださっている富士宮クラブと富士山部の皆さまよりご支援いただきました。感謝申し上げます。



●趣 旨●

2026年は「東日本大震災」から15年を数える年である。被災地域は「復興」によって大きく変化している。被災された方々の、人生も生活も、同様に大きな変化の中にある。その悲しみ・痛み・悔やみなどは今も変わらず、むしろ、大きく深くなっている。福島は「地震・津波・原発事故」の複合被災地である。未だ「原子力緊急事態宣言」は発令中である。

この2026年に「ふくしまYMCA」を設立しようと、我々は志を立てた。その最初の取り組みとして、東日本大震災により東京電力福島第一原子力発電所が2011年の「3月15日」まで爆発を繰り返した惨禍を想起し、「祈祷会」と「交流会」を持つこととした。

2026年3月15日に、先ず我々は「祈祷会」を行う。「いのち」に深く関わる福島の課題を覚え続けるためである。その祈りを基盤として、次に我々は「交流会」を行う。「未来への責任」と「正解のない問題への取り組み」を主題とした「環境問題」についての講演を共に聴く時を持ち、志ある方々との交流をもって、新しい協働の道を拓く。

以上により、これから始まる「ふくしまYMCA」の活動が次世代へと続く長い活動の展開の端緒となる事を目指し、2026年3月15日に「祈祷会・交流会」を開催する。

●祈祷会●

「ふくしまYMCA」という言葉の中にある「C」は「キリスト教」を表す。ここに、この運動の精神がある。この精神を起動させることから始めることで、我々は、直面している課題の深部にある「いのち」にまで思いを寄せる。

そのために、2026年3月15日の「交流会」の前に「祈祷会」を開催する。祈祷会においては、以下のような祈りを共にする。

- 東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から15年を数える今年、北海道から千葉県に至る東日本の広範囲に広がる津波被災地への慰めと守りと支えがあるように、祈る。
- 原子力事故によって脅かされた無数の「いのち」への責任を思い出し、その責任を担えない私たちの弱さを見つめ、天来の憐れみを求めて祈る。
- 今後も引き続き起こるであろう災害への備えを念頭に、東日本大震災での様々な経験が生かされることを目指し、天来の助けを求めて祈る。
- 東京電力福島第一原発事故によって放出された大量の放射性物質による健康被害から守られるための活動が、多くの困難の中、今なお、続いている。「廃炉」や「汚染再生土・汚染処理水」の処理が安全に進むことを注視し続ける力を得られるように、祈る。
- 国内の原発で、福島のような事故が再び起こらないように情報収集を続け、多くの方々と協働できるように、天来の助けを求めて祈る。
- 2011年からの15年間の重い経験を一つひとつ想起し、能登半島地震をはじめ、国内外の自然災害で被災された方々の痛みへと想像力をつなぎ、天来の慰めを祈る。

震災の月 まだ登録を済まされていないみなさん 東日本区大会石巻大会への参加登録をお急ぎください

東日本区大会の登録をお急ぎください。

既にいくつかの部屋タイプやツアーが定員に達しています。

クリシタンツアーは定員に達しました

こちらが予想した以上の関心をお寄せいただき同ツアーは定員に達しました。
ありがとうございます。
これに限らず多くのツアーあるいは宿泊が予定数を超える事態となっています。
ご参加をご検討のみなさま。一刻も早い登録をお願いします。

既に満室となったホテル・部屋タイプが出ています。
6月6日のグランドホテル、サンプラザホテルのツインは満室となりました。
今後は、バリューホテルのツイン、もしくはグランドホテル、サンプラザホテルのシングルでのお申し込みをお願いします。

少しお得な第1次締め切りは4月15日

開催日 2026年 6月6日(土)

本大会
石巻市河北総合センター(ビッグバン)
晚餐会・フェロシップアワー
石巻グランドホテル 宮城県 石巻市

ワズメンズクラブ 国際協会

瓦礫、命、感謝。
第29回 東日本区大会
次の未来へ!

前夜祭
2026年 6月5日(金)
午後6時 - 石巻元氣市場にて
●観戦ゴルフ大会
別荘にて研修をお知らせします

エクスカーション
2026年 6月7日(日)
「津波の教え」大川小学校・
復興被災地を学ぶ訪問します
6月8日(月)
オプショナル 東北クリシタンツアー

お申込みは
コチラから
お申し込みフォーム

ワズメンズクラブ国際協会第29回東日本区大会実行委員会
石巻広域クラブ/仙台青葉城 仙台広瀬川 Moriおかクラブ
石巻市教育委員会 公益財団法人仙台YMCA

甲府 21 クラブ 廣瀬 健ワイズのご遺志を拝受しました

コロナ禍以降、対面での区大会の全面的再開に使命を持ち第 26 回東日本区大会甲府大会の成功を待ち望んでいながら準備段階の 2023 年 1 月 30 日に現会長在任期間中に召命なされた甲府 21 クラブ元会長 廣瀬 健ワイズのご家族からご本人の思いを JEF 献金という形で遺贈したいとのご意志を受け、2 月 3 日 甲府 21 クラブ例会席上において鈴木伊知郎次期理事ならびに榎本 博書記が拝受しました。

廣瀬ワイズは 2018-2019 年度エルマー・クロウ賞受賞者でもありその偉業は我々の心に十分なほど刻み込まれております。今回、財政の厳しさをなんとか耐え忍びながら運動

の維持を図ろうとする東日本区の窮状を遺贈という形で救いの手を差し伸べていただきましたご家族、ご親族のみなさまのご配慮とそれを突き動かしていただきました故廣瀬 健ワイズの思いの強さに東日本区一同感銘を憶えているところです。

我々はこの貴重な献金をその重みを感じつつ青少年の育成という歴代の先達の献身に寄り添いながら組織の堅牢維持のため大切に使用させていただきます。



故廣瀬ワイズ

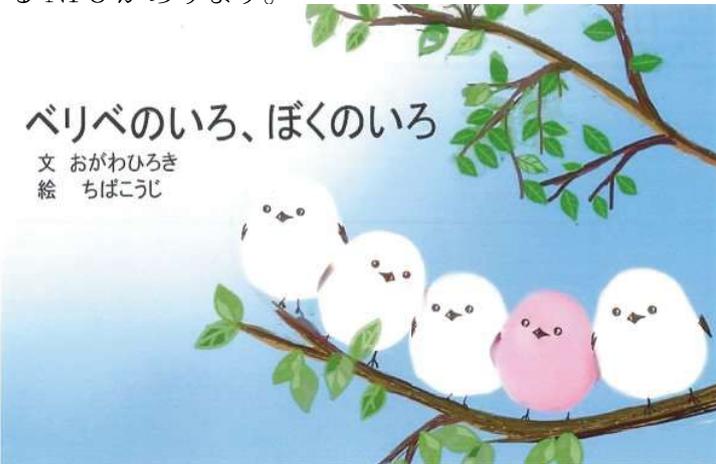
2 月 25 日 ピンクシャツデーに思う

十勝クラブでは全国のワイズメンズクラブのご協力を得てすすめているじゃがいもファンドの益金をロータリークラブの支援と共に YMCA に提供。YMCA では絵本「ベリベのいろ、ぼくのいろ」を作成して近隣の小学校に配布したり、札幌のお菓子屋さん和タイアップしてピンクシャツデー限定の新パッケージで商品販売。購入者に絵本を配布するなどの今までにない取り組みで地域にピンクシャツデーの取り組みを地域に紹介しました。

この小さな働きはワイズメンズクラブが地元 YMCA のピンクシャツデーの取り組みを支える各地の取り組みのひとつです。多くの皆さまがこの日を憶え祈りと奉仕を捧げられておられることに敬意と感謝を申し上げます。

世界中で移民排斥のヘイトが次第に勢いを増してきて、また社会の同調圧力も強くなっており多様性が失われるような動きに恐怖さえ覚えます。

東新部で支援をしている「メタノイヤ」という外国にルーツのある子供たちを語学教育を中心に支援している NPO があります。



代表の山田拓路さんは YMCA 同盟常議委員でもあり昨年度の YMCA 同盟協議会でたまたま私と同じグループにいたのが彼でした。

その後、東新部のみなさんをお願いしてメタノイヤの本部にお邪魔してお話を聞かせてもらいました。多くの地域の皆さまがメタノイヤを支え、今の情勢では企業献金は受け入れられないのではというメタノイヤ側の心配をよそに積極的に企業が支援の輪の中におられます。

目的がはっきりしていてそれが分かりやすければ地域の支えや仲間が得られるという教をワイズメンズクラブに与えられている気がしながら外国にルーツのある子供たちが笑顔でドアを叩きにぎやかに

なってきた事務所を後にしました。サイトで公開されているコラムや資料に目を通し、なんら罪のない子供たちが厳しいヘイトの中に身をさらしている現実を目を向けていただけたらと思います。「メタノイヤ」で検索してください。

同様な視線で運動が続けられている東京 YMCA 「多文化共生スペース▽(さんかく)」の活動を誇りに思います。

すべての子供たちが平安で平和の中に笑顔で過ごせるよう

自由に声を上げられるような差別のない社会の愛に包まれた日々が与えられるよう。

そのためにワイズメンズクラブが子供たちに寄り添い続ける存在であることをすべての皆さまに訴えたいと思います。

子供たちに平等な機会を そして未来を

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区理事

山下 真

来月はいよいよ W4W の強調月間

各クラブの準備は？



日本YMCA同盟報告（2026年3月）

東日本区担当主事 田附和久（東京武蔵野多摩）

ロシアによるウクライナ侵攻から4年が経ちました。日本は、これまでに累計2868人のウクライナからの避難者を受け入れ、現在も1967人が避難生活を送っています（2026年1月末日速報値）。日本YMCA同盟では、その中の約600名を対象とした大規模アンケート調査を今年も実施し、その結果は新聞、テレビ、ラジオ等を通して広く報道されました。日本定住を考える人が増える一方、経済的な自立には課題が多いという実態が調査結果から見えてきますが、戦争の長期化に伴い、人々やメディアのウクライナへの関心は薄れてきているようです。困難の中にある仲間たちのことをどうぞ引き続きお覚えください。

今年も2月には、いじめ反対を訴えるピンクシャツデーの取り組みが全国のYMCAでさかんに行われました。クラブ例会や様々なイベントに、ピンクのシャ

ツを着て参加してくださったワイズの皆様の応援、ご協力に厚く御礼申し上げます。YMCAでは、今後もピンクシャツデーに限らず、日常的にいじめ反対の取り組みを続けてまいります。

2月26日から3月1日まで韓国ソウルで、第22回学生YMCA日韓交流プログラムが開催されました。日韓、そしてモロッコ、チュニジアの留学生を含む25名の大学生が集い、AI時代に生きるユース世代を感じる、現実的な困難・不安・恐れについて語り合い、AIが日常となった時代において、個人の内面の平和と社会の平和をともに守るためのアクションプランを宣言しました。世界各地で国際法が踏みこじられ、戦火の下で多くの人々の命が脅かされている中、ユースたちが蒔いた小さな友情の種が、東アジアそして世界に大きな平和の花を咲かせ、実を結ぶよう祈ります。

年次代議員会公告

2025～2026年度ワイズメンズクラブ国際協会東日本区年次代議員会は、第29回東日本区大会に併せて、2026年6月6日（土）午前10時より宮城県石巻市「石巻市河北総合センター・ビッグバン」にて開催いたします。これは東日本区定款第6条第7項に基づき公式に告示するものです。

代議員会は東日本区内における最高意思決定機関に

該当します。

つきましては、各クラブの会長、部選出代議員ならびに人数割り代議員（本年度は部長及び直前部長）は必ずご出席いただきますようお願い申し上げます。なお、やむを得ず欠席される場合には、委任状の提出が必要となります。

また、クラブもしくは部による議案の提出については、東日本区定款第6条第8項の規定に従い、4月4日（土）までに議案提案書を東日本区理事宛てにご送付ください。議案提案書は東日本区事務所までご請求願います。

JEF 献金に感謝を

日付	献金者	クラブ	献金	献金の趣旨
2026年1月8日	小林 隆	熱海グロリー	10,000	東日本区事務所の半期が無事終了して
2026年1月14日	廣瀬 仁	甲府21	200,000	東日本区の更なる発展を祈念して
2026年1月30日	田中博之	東京多摩スマイル	2,000	在京ワイズ新年会プロボノとして感謝
2026年1月30日	在京ワイズ新年会		10,000	在京ワイズが盛況に行われたことに感謝

新規入会者のご紹介

入会日	部	クラブ	氏名	紹介者
1月1日	東新部	東京	磯田幸子	特メ→広義
1月23日	北東部	石巻広域	ソヨド・アブドゥル・ファッタ	川上直哉
1月26日	富士山部	熱海	小木田なみ	河村昌彦

今後の予定

3月1日	代議員会公示	3月20日	SDGs ユースアクション 企画プレゼンテーション大会
3月2日	ふくしまYMCA設立準備委員会	3月22日	ワイズナイトフォーラム第3夜
3月4日	LT委員会	3月24日	表彰会議
3月5日	東日本区役員会議案提出期日	3月26日	区大会区実行委員会
3月7日	関東東部の集い	4月5日	年次代議員会議案提出
3月10日-13日	RDEサミット	4月11日	YYウォーク縄文の旅（Y友広場）
3月11日	3.11追悼礼拝・感謝の集い（石巻広域）	4月11日-12日	第3回東日本区役員会
3月14日-15日	次期クラブ会長・部役員研修会	4月15日	東日本区大会登録期日（1次）
3月15日	RDEトレーニングセッション（ASP）	4月18日	あずさの集い
3月15日	3.11祈禱会と交流会 （ふくしまYMCA設立準備会）	4月18日	北海道部次期役員研修
3月19日	認知症サポーター養成講座（東新部）	4月20日	年次代議員会招集案内発送
3月20日	日本YMCA同盟総主事就退任式	4月25日	障がい者フライングディスク大会 （富士五湖）
		4月30日	ドバイ国際大会アーリーバード期日